

平成27年度 ベビーウェーブ・アクション会長表彰 受賞者一覧

No	対象企業等	所在地	別紙「表彰基準」の取組事例番号・内容			
1	社会福祉法人 成寿会	大館市	A-2	地元大卒者を中心に、26年度2名、27年度2名と継続して採用している。	A-4	資格取得を目指す職員を積極的にサポートし、資格取得に係る費用を法人が負担するなど、若者のキャリアアップを支援している。
2	あきた白神農業協同組合	能代市	A-2	地元大卒者、高卒者ともに毎年継続して採用しており、26年に3名、27年に5名を採用している。	C-4	子の看護休暇を半日単位や時間単位で有給で活用させているほか、配偶者出産休暇の取得を推進する等、仕事と育児の両立を支援している。
3	有限会社 山王丸自動車	男鹿市	A-1	インターンシップについて、地元高校生を毎年2名程度受け入れている。	A-4	働きながら資格取得を目指す従業員を積極的にサポートし、資格取得に係る費用を全額会社が負担するなど、従業員のキャリアアップを支援している。
4	ユナイテッド計画 株式会社	潟上市	A-1	インターンシップについて、地元大学生、高校生を中心に毎年3名程度受け入れている。	A-2	地元高卒者を中心に、26年度6名、27年度6名と継続して採用している。
5	社会福祉法人 南秋福祉会	八郎潟町	A-1	インターンシップについて、地元出身の福祉専門学校生や短大生を中心に毎年3名程度受け入れている。	C-4	短時間勤務制度を積極的に活用させているほか、子の看護休暇について、子1人につき7日（有給）、「中学校就学の始期」までに期間延長するなど育児介護休業法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
6	秋田協同印刷 株式会社	秋田市	A-1	インターンシップについて、地元大学生、短大生、専門学校生を毎年5名程度受け入れている。	A-2	近年、若年層の採用に積極的に取り組んでおり、Aターン者を含めて若年者の中途採用者を26年度3名、27年度2名を採用し、定着している。28年度は新規卒卒者を1名採用予定。
7	北日本コンピューターサービス株式会社	秋田市	A-2	地元大卒者を中心に、25年度6名、26年度2名、27年度は20名と継続して採用している。	C-4	父親の育児参加促進につなげるため、配偶者出産休暇を有給とし、活用されているほか、半日単位での年次有給休暇取得を可能とするなど、法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
8	社会福祉法人 賛成福祉会	秋田市	A-2	地元短大卒者、福祉専門学校卒者を、26年度に5名採用。27年度は若年者を1名中途採用するなど、若者を継続して正規採用している。	C-4	時間単位での年次有給休暇取得を可能とするほか、配偶者出産休暇（有給）を積極的に活用させているなど、育児介護休業法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
9	株式会社 シグマソリューションズ	秋田市	A-2	大卒者を中心に、26年度6名、27年度は4名と継続して採用している。	A-4	働きながら資格取得を目指す従業員を積極的にサポートし、資格取得に係る費用を全額会社が負担するほか、取得が困難な資格に合格した場合は祝い金を支給するなど、従業員のキャリアアップを支援している。
10	FOOD&DRINK パセリ	秋田市	B-3	平成23年度から現在まで出会いイベントを55回実施。これまで参加者980名、把握しているところで2組が成婚に至っている。	B-4	毎月継続して出会いイベントを実施してきた実績や、開催に向けた積極的な姿勢は、「すこやかあきた出会い応援隊」のモデルとなっている。
11	株式会社 ミナミ保険	秋田市	A-4	働きながら資格取得を目指す従業員を積極的にサポートし、資格取得に係る費用を全額会社が負担するなど、従業員のキャリアアップを支援している。	C-4	短時間勤務制度を積極的に活用させているほか、年次有給休暇の半日単位での取得を可能とするなど、仕事と育児の両立を支援している。
12	社会福祉法人 雄和福祉会	秋田市	A-2	地元短大卒者、専門学校卒者を中心に、25年度に1名、26年度に4名、27年度に1名と毎年継続して採用している。	C-4	時間単位での年次有給休暇取得を可能とするほか、配偶者出産休暇（有給）を積極的に活用させているなど、育児介護休業法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
13	長田建設 株式会社	由利本荘市	A-2	地元高卒者を中心に、26年度3名、27年度1名と継続して採用している。	A-4	働きながら資格取得を目指す従業員を積極的にサポートし、資格取得に係る費用を全額会社が負担するなど、従業員のキャリアアップを支援している。
14	小林工業 株式会社	由利本荘市	A-2	地元高卒者を中心に、26年度2名、27年度5名と継続して採用している。	C-4	「育児支援休暇」を独自に導入し、子一人につき5日間（時間単位、有給）、子の看護休暇（時間単位、無給、小学校3年生まで）と併用もできるなど、育児介護休業法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
15	大東精機 株式会社	由利本荘市	A-2	地元高卒者を中心に、26年度2名、27年度2名と継続して採用している。	C-4	時間単位での年次有給休暇取得を可能とするなど、法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
16	有限会社 東幸自動車	由利本荘市	A-4	働きながら資格取得を目指す従業員を積極的にサポートし、資格取得に係る費用を全額会社が負担するなど、従業員のキャリアアップを支援している。	C-4	子の看護休暇について、子1人につき6日（半日単位、有給）と育児介護休業法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
17	社会福祉法人 矢島恵育会	由利本荘市	A-1	インターンシップについて、地元高校生を毎年6名程度受け入れるとともに、地元中学生の職場見学も受け入れている。	C-4	時間単位での年次有給休暇取得を可能とするなど、法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
18	社会福祉法人 あけとおり会	大仙市	A-2	地元高卒者を中心に、26年度に1名、27年度に2名と毎年継続して採用している。	A-4	資格取得を目指す職員を積極的にサポートし、資格を取得した場合は報奨金を支給するなど、職員のキャリアアップを支援している。
19	株式会社 小貫建設	美郷町	A-1	インターンシップについて、地元高校生を中心に毎年2名程度受け入れるとともに、要請に応じて地元中学生の職場体験も受け入れている。	A-2	地元高卒者を23年度から毎年1名継続して採用している。
20	社会福祉法人 慈泉会	美郷町	A-1	地元高校（福祉科）の施設実習先として、毎年継続して高校生を受け入れている。	C-2	平成21年度から高校生、大学生、短大生の子どもがいる職員に「教育手当」を支給しているほか、26年度には中学生までを育てる職員に「子育て手当」を創設するなど、独自の子育て支援を行っている。
21	社会福祉法人 同心会	横手市	A-1	インターンシップや実習生について、地元高校生や地元出身の短大生を毎年5名程度受け入れるとともに、地元中学生の職場見学も受け入れている。	C-4	時間単位での年次有給休暇取得を可能とするほか、子の看護休暇を時間単位、有給で取得でき、「小学校卒業前まで」に期間延長するなど、育児介護休業法を上回る取り組みを実施し、仕事と育児の両立を支援している。
22	横手市森林組合	横手市	A-2	近年、若年層の採用に積極的に取り組んでおり、26年度は2名、27年度も2名と毎年継続して採用している。	A-4	資格取得を目指す職員を積極的にサポートし、資格取得に係る費用を組合が負担するなど、若者のキャリアアップを支援している。
23	横手商工会議所	横手市	B-3	平成22年から現在まで出会いイベントを11回実施。これまで参加者は1,478名、把握しているところで3組が成婚に至っている。	B-4	平成22年から毎年継続して大規模（200名規模）な出会いイベントを実施してきた実績や、市や民間企業と連携した取り組みは、県内他地域のモデルケースとなっている。